

— 静かな夜と空を返せ —

発行日：2016 年 4 月 15 日

発行者：大沢豊／福本道夫

No.23

横田・基地被害をなくす会 NEWS

原告団 NEWS No.14

合同
発行

連絡先：〒196-0001 東京都昭島市美堀町 3-13-1 留守 TEL&FAX：042-542-5625

E-mail：なくす会⇒yokota_nakusukai@yahoo.co.jp 原告団⇒yokota9th@yahoo.co.jp

Web サイト http://www.geocities.jp/yokota_nakusukai/

発行：横田・基地被害をなくす会／第9次横田基地公害訴訟原告団

※NEWSは「横田・基地被害をなくす会」と「第9次横田基地公害訴訟原告団」の合同発行です。

NEWS内容 (CONTENTS)

4月28日第15回弁論参加要請……………	1	弁護団紹介、横田基地の現状①……………	5
2/12 オスプレイ反対の声に政府は……………	2	横田基地の現状②……………	6
2/12 オスプレイの横田基地への飛来・配備に反対する要請……………	3	経過報告と今後の予定……………	7
普天間結審・辺野古支援行動に参加して……………	4	オスプレイ反対署名へ引き続きご協力を……………	7
		会費の振込について、天欄……………	8

4月28日第15回弁論に参加を 10時15分高松駅西側公園に集合

立川地裁 4階 405 法廷で午前 11 時開始

来る4月28日(木)の法廷では、弁護団が国の主張する「防音工事」について反論する予定です。

弁護団を応援する意味でも、被告国に横暴な主張をさせない意味でも、傍聴にご協力ください。

裁判所に行くのが身体的にきつい方は、車での送迎も検討しますので、下記電話にお申し出ください。

事前集会は10時15分～緑町北公園です。

◇連絡先電話：090-4951-0800（福本携帯）

裁判当日は、いつも裁判開始前に緑町北公園で簡単な集会を行っています。集会では、弁護団の先生や原告団、横田・基地被害をなくす会の役員が、当日の裁判内容や基地の状況などを説明し、隊列を組んで裁判所に向かいます。また、当日の裁判内容(主に原告側が裁判所で主張する内容)をニュースにしてお渡しします。ぜひご参加ください。



2/12「オスプレイ反対」 の聲に政府は…

横田・基地被害をなくす会
会計監査 加藤克子

2月12日午前中、オスプレイ横田基地配備「環境レビュー」に関する政府交渉が行われた。冒頭、「配備反対署名」18,000筆の提出も行われた。申入書はオスプレイ横田配備反対連絡会に加わる6団体で、会議を何回かもって作成したものだった。

参議院議員会館の会場には、この日の午後に予定されていた全国基地爆音訴訟原告団連絡会の政府交渉に参加する全国の原告団メンバーたちも加わり、41人が集まった。

政府側からは、防衛省3名、外務省1名の若手が出席。開口一番の発言は、「環境レビューは米大統領令にもとづき米軍が主体的にまとめたもの。(だから防衛省、外務省、さらに日本政府は関係ない)」というものだった。

そのあと、防衛省官僚が分担して、申し入れ各項目に回答していった。

配備の見直しはしない／普天間に配備されたオスプレイの運用はうまくいっている／環境レビューは昨年2月に米側が作成、7月に日本が入手し、翻訳して自治体説明に回った／防衛としては既存の日米合意遵守を期待するだけ／周辺の施設の調査などは日本から求めている…。

外務省からは「外務省として用意した回答はない。質問があれば答える」の一言。

怒りの発言や質問が炸裂した。「基地訴訟で何度も被害ありという判決が出ている。日本政府は日本国民の生命財産を守る立場にあるのか?」「事故が起ったら損害賠償すればいいという考えか?」「日本の主体性はどこにあるのか?」「騒音被害は確実に増すのに、レビューは同じ程度としか書いていない。それでいいのか?」「数日前ステルス戦闘機が横田に飛来した。通告はなぜ遅れるのか?」「C V オスプレイは米国市街地上空を飛べない。日本ではなぜ飛べるのか?」「特殊部隊が配備されるというが、どんな編成で何をやるのか教えてほしい。」すでに日夜区別ない飛行訓練が行われている沖縄の仲間からは、「実態をまるで把握していないではないか。日米合意なんて全然守られていない。横田の

人にウソをつくな!」と叱声が飛んだ。

おそらく若手官僚にとって、この場は一つの試金石なのだ。負けずに答えた者もいた。

曰く「低周波騒音調査は、いまだ判断基準がなく、なお検討中である。」「オスプレイの事故率は、統計的な数値を言えるほどの飛行時間に達していない。」「米側に通告義務はない。」

平行線、そして欲求不満なままに終わった交渉。その後、なくす会+原告団役員会で、「追及しているだけで虚しい。何かが欠けている」という意見が出た。政府側だけでなく、我々の側に、力も、そして説得力も不足なのだろう。次の交渉が虚しいものにならないために何が必要か?

それを探り、そして力を獲得したいものだ。
※政府(首相、外務大臣、防衛大臣)に対する要請書は3ページ(右ページ)の通り。



↑署名を提出する6団体の代表

18,000筆
の署名の山

発言する当原告団・団長↓



2/12 オスプレイの横田基地への飛来・配備に反対する要請文

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣宛

CV-22 オスプレイの横田基地配備とMV-22 オスプレイの横田基地飛来に反対する要請

私たちは、首都東京に位置する横田基地に2014年から飛来するようになったMV-22 オスプレイと2015年5月に「CV-22 オスプレイが横田基地に配備される」との発表があったことをきっかけに横田基地周辺で活動する6団体で結成した「オスプレイ横田配備反対連絡会」です。

… (中略) …

以上のことから、私たちは、日本政府が日本国民の命と安全な生活を守るため、米政府に対し、CV-22の横田基地配備計画を撤回するよう、また、MV-22の横田基地への飛来と日本からの撤退を要求されることを求めます。

ところで、昨年10月に公表された「CV-22の横田飛行場配備に関する環境レビュー」は、米軍の「CV-22の横田基地への配備ありき」の結論を基に作成されたもので、内容は基地周辺住民の安全を無視する不十分なものでした。

ついでながら、本来の役割から言えば、「CV-22の…環境レビュー」は、日本政府が作らねばならないものだったのではないのでしょうか。CV-22が横田基地に配備されることで、日本国民や日本の国土・環境にどのような影響があるかを調査すべき主体は日本政府であるべきだからです。

記

1. 日本政府は、CV-22 オスプレイの横田基地配備計画を撤回するよう、米国政府に要求すること。
2. 日本政府は、MV-22 オスプレイの日本国土での飛行を禁止し、普天間基地への配備を撤回するよう、米国政府に要求すること。また、日本全土のすべての場所に、オスプレイの配備や飛行をさせないようにすること。
3. CV-22の横田基地配備計画決定の経過を明らかにすること。
4. 米空軍特殊作戦コマンドが作成した「CV-22の横田飛行場配備に関する環境レビュー」に関して、以下の疑問に答えること。

- ①環境レビュー作成の目的や意義は何か。
- ②環境レビュー作成にあたって、日本政府はどの程度関与したのか。
- ③環境レビュー作成にあたって、日本国の法令や環境管理基準や日米合同委員会合意事項、基地周辺住民への配慮がどれだけなされたのか。
- ④環境レビュー発行日と発表日に、約8か月のずれが生じているのはなぜか。
- ⑤日本政府は、環境レビューをいつ入手したのか。また、その際に環境レビューの内容についての説明を十分に受

けたのか。

- ⑥環境レビューについて、関係自治体に十分な説明をしたのか。また、さらなる追加説明を行うのか。また、環境レビューの配布・説明を行った自治体はどこか。
- ⑦環境レビュー作成にあたって、基地周辺・訓練空域下に位置する自治体や住民の安全について十分な配慮がなされたのか。また、クリアーゾーンの考え方を採用しないのはなぜか。
- ⑧CV-22は基地周辺や訓練空域で、どのような訓練（低空飛行、夜間飛行、旋回飛行、タッチ&ゴー、ローパス、人員降下、物資投下など）を、地形を含めたどの地域で、どの高度（地上からの）で行うのか。
- ⑨横田基地周辺の学校施設や老人施設、病院がどこにどれだけあるのかについて調査を行ったのか。行っていないければ、日本政府がその調査を求めたのか。
- ⑩CV-22の事故の危険性、飛行回数、夜間飛行の頻度、低空飛行の頻度と高度、うるささ指数に与える影響について詳細に示されていないのはなぜか。
- ⑪CV-22 関連施設の位置が、周辺住民に安全を担保できる場所であるという認識を持っているか。
- ⑫CV-22 配備に関連して工事が進められる予定になっているが、日本政府がその費用を少しでも負担する部分があるのか。
- ⑬CV-22とMV-22の最新の事故率と、過去の事故の原因で明らかになっていることは何か。
- ⑭夜間～早朝の騒音抑制時間帯の航空機の離発着やエンジン起動を運用群司令が承認するケースは、具体的にどのような場合か。
- ⑮東富士演習場などで行うとされるチャフ及びフレアを用いた訓練は、具体的にどのような訓練か。また、チャフ及びフレアが地上に落下した場合の人体や農作物への影響はどのようなものか。
- ⑯CV-22 配備に伴って新たに結成される特殊作戦コマンドは、米軍の組織上、どの部隊に属する部隊か。
- ⑰MV-22の普天間配備の際に示された環境レビューと、CV-22の横田配備の際に示された環境レビューとの違いは何か。

2016年2月12日

オスプレイ横田配備反対連絡会

(横田基地問題を考える会、横田基地の撤去を求める西多摩の会、横田基地もいらぬ市民交流集会実行委員会、横田・基地被害をなくす会、第2次新横田基地公害訴訟原告団、第9次横田基地公害訴訟原告団)

普天間結審・辺野古支援 行動に参加して

横田・基地被害をなくす会
会計 斉藤寿子

全国で係争中の基地訴訟、沖縄県嘉手納・普天間、山口県岩国、石川県小松、神奈川県厚木、そして東京都横田基地での7団体は、全国基地爆音訴訟原告団連絡会議として、個々の訴訟を全国的な規模にするため相互交流している。そのうちの普天間基地裁判が、3月24日、那覇地裁沖縄支部で結審を迎えた。当日9時に裁判所前駐車場で事前集会が行われた。平穏な生活を送らせてほしいという、当たり前の願いが米軍により踏みにじられており、この願いが沖縄特有の基地の闘いを、安保条約を起点に今では全国の闘いになっている。しかしながら普天間基地訴訟では、基地撤去を求め、基地固定化をしないような憲法判断を求めている。

今回の結審では、各地から応援弁論があり75分の予定を越えた。法廷に入れない支援者のために、別室で弁護団による解説が行われた。最も興味深かったのは国の主張の二枚舌ぶりである。国は、普天間の裁判では騒音は受忍限度内であるとし、辺野古の裁判では普天間基地の危険性を重視、辺野古移転の必要性を強調した。最後に4年半の総決算の判決に向けて、再度「夜静かにさせて」と振り絞るように終わった。

裁判後「普天間爆音カー」（宣伝カーのこと）に乗り、嘉手納と普天間の基地ウォッチングに出かけた。嘉手納基地を見渡す民家の屋上で、騒音の過酷さを体験した。普天間基地を見下ろす民家の屋上からはオスプレイの姿も確認した。基地の周辺では、東京では会えないシロガシラや、イソヒヨドリの姿があり、マンガースの姿も見かけた。移動中、車の中から黄色い花がいっぱいついている木をよく見かけた。ウォッチング後ホテルに戻り、そこはコザ“蜂起”現場に近く、コザゲート通りから始め、街中を1時間くらい歩いた。たまたま入り込んだ通りにはこの黄色い花、“イPPER”が街路樹として植えられていた。民家のすぐわきに亀甲墓と呼ばれる沖縄の墓を見つけた。住居と墓がともにある風景は、この生活が当たり前だったころの姿を彷彿とさせた。基地が破壊していく地域の姿を垣間見たようなひと時だった。

翌25日には辺野古座り込みの支援に行った。テント前から眺める大浦湾の海は穏やかだ。しかし有刺鉄線が張られた境界線のこちらから眺めた、米軍に提供されたあちらの海は様相が違った。黒いウェットスーツ姿の軍人たちが、黒いゴムボートを何隻か周回レースのように駆使している。こちらを蹴散らす気が満々だ。境界のあちらとこちらは対峙の現場だ。

キャンプ・シュワブゲート前では、高里鈴代さんがマイクをもって各地からの支援者に発言を促していた。私たち全国基地連も参加者全員で発言、その後も多くの発言や歌が続いた。その間ゲートからは米軍トラックや、水陸両用戦車とおぼしき、戦争でしか使い道がないとしか思えない車両が公道を走ること抗議した人々が行く手を遮り、車両の通行を阻むといった緊迫した時間があった。2～3分であったかもしれないが、何時間にもわたる時間のように感じられた。その場に約4時間いて、またの支援を約束して帰途に就いた。



↑ 普天間結審法廷事前集会



↓ キャンプ・シュワブ前で米軍車両に抗議

弁護団紹介

近藤麻衣弁護士

- ①弁護士登録年 平成 25 年
- ②趣味 野球観戦, ピアノ, 鉄道 (駅鉄) など
- ③基地訴訟について

横田基地の周辺住民の基地騒音被害は長年の間解消されない状態が続いているにもかかわらず、安保法案の成立、横田基地へのオスプレイ配備、日米共同司令部の配備など、ここ最近の横田基地をとりまく情勢は軍備強化の方向に向かっています。国のいう「日本の安全」という抽象的でよくわからないもののために、周辺住民の生活が現実的に危険に晒されているのは本末転倒ではないかと強い憤りを感じます。

今回の裁判においても、これまで原告の方から伺った話を中心に基地周辺住民が受けている被害の実態と重大性、そして国が騒音被害に真摯に向き合おうとしない不誠実性を裁判所に強く訴えていきたいと思っています。

荒木明日香弁護士

- ①弁護士登録年：平成 26 年 1 月
- ②趣味：読書 (主にミステリーや歴史物), 海外ドラマ鑑賞
- ③基地訴訟について

国内では、安保法案が多くの廃案を訴える声にも関わらず成立し、今年 3 月に施行された一方、国外に目を向ければ、今年 1 月の北朝鮮の核実験やアメリカ大統領選など、日本を取り巻く状況も大きく変わろうとしており、軍事基地である横田基地が抱える現実的危険性が今後増すことが予想されます。

また、オスプレイはその危険性が指摘されており、横田基地周辺の自治体が、繰り返し横田基地へ配備しないよう国や米軍に対して要請してきたにもかかわらず、横田基地にも配備されることが発表されています。

このように、日本政府が、横田基地周辺住民である原告の皆様の犠牲を無視し、アメリカとの軍事協力を優先し続ける状況を、この訴訟では争っていきたいと思います。

全国で係属している基地訴訟も、一審の結審を迎えている訴訟が続いており、この裁判も今後ますます重要な争点を中心となっていきます。何卒引き続き宜しくお願い申し上げます。

横田基地の現状①

オスプレイの飛来～今年の第 1 陣は揚陸艦から

今年になって初めてのオスプレイの飛来は、米韓合同演習に伴う米軍の行動に伴って行われた。

今回の飛来機は普天間配備機ではなく、米本土から強襲揚陸艦・艦載機の MV-22 が岩国を経由

したり、直接飛来したりという動きをした。

まだ「安全」が確実に実証されたわけではない。オスプレイが私たちの住宅地上空を飛ぶことは許されることではない。



3/8 離陸時の MV-22 オスプレイ

年月	時刻	機番	進行方向	離着陸	備考
3/7	15:27	YX06	南?	着陸	13:24 岩国発
	15:45	YX12	南?	着陸	13:32 岩国発
3/8	11:50	YX12	南	離陸	13:55 岩国着
	15:37	YX05	?	着陸	揚陸艦ボクサーから直接?
3/9		YX06, 05		STAY	
3/10		YX06, 05		STAY	
3/11		YX06, 05		STAY	
3/12	15:24	YX06	?	離陸	どこに行ったか不明
	20:20	YX06	北	着陸	
3/13	9:26	YX06	?	離陸	
	9:31	YX05	?	離陸	

進行方向:「南」は、北から南に向かったこと。「北」は、南から北に向かったことを表す。

○3/7～3/13のオスプレイは、普天間所属機ではなく、カリフォルニア州ミラマー基地所属。

○3/8から4月にかけて米韓合同演習が行われるため強襲揚陸艦ボクサーの艦載機らしい。

○そのため、岩国経由であったり、直接飛来したりしたと思われる。

横田基地の現状②

戦闘機が 20 機集結。空中給油機。事故など

1/26 パラシュート降下↓



1 月 20 日～ 26 日。当初の通告内容は戦闘機 26 機というものだったが、実際は F-22 が 14 機＋ F-16 が 6 機＋ KC135 や KC-10 の空中給油機だった（下記の表を参照）。基地周辺は緊迫感が漂った。

飛来目的は、明らかではないが、当時の状況から考えると、北朝鮮や中国に対する示威行動ではなかっただろうか（新聞報道など）。

そして、横田を飛び立った戦闘機は、沖縄・嘉手

↓ 1/22F-22 が
12 機整列



納基地にも行ったらしい。

そのほかに、以下のようなことがあった。

- ◆人員降下訓練：1/20～22（2 名）、3/25～29（約 250 名）、3/2（2 名× 4 回）
- ◆横田基地所属のヘリ（UH-1N）が調布飛行場にエンジンの不具合で緊急着陸（乗員 6 名。3/4 に帰還）
- ◆東富士演習場で、横田基地の C-130H からパラシュート降下した兵士が工場駐車場に着地。

月日	時刻	着陸	離陸	備考・所属など
1/20	12:28	F-22 ①		アラスカ州エルメン ドルフ基地
		F-22 ②		
		F-22 ③		
		F-22 ④		
	12:36	KC-10 ①		トラビス
		F-22 ⑤		アラスカ州エルメン ドルフ基地
		F-22 ⑥		
		F-22 ⑦		
1/21	12:36	F-22 ⑧		
		F-22 ⑨		
		F-22 ⑩		
		F-22 ⑪		
	12:24	KC-10 ②		トラビス
		KC-10 ③		
		CH-47J（空自）ローパス		
		厚木基地		
1/22	7:25		KC-10 ①	
	12:13	F-22 ⑨		アラスカ州エルメン ドルフ基地
		F-22 ⑩		
		F-22 ⑪		
		F-22 ⑫		
	12:24	KC-10 ③		
	14:42			CH-47J（空自）ローパス
	14:57	F/A-18		厚木基地
1/23	16:45	C-17		
	7:13		KC-10 ③	
	7:18		C-20	
	9:39	T-4		空自
	12:42	E-2C		厚木基地
	12:58		T-4	空自
	15:23	F-22 ⑬		アラスカ州エルメン ドルフ基地
		F-22 ⑭		
1/25	15:25		E-2C	厚木基地
	16:14	KC-135 ①		フェアチャイルド
	7:36		KC-10 ③	トラビス
	8:21		C-146	
	13:57	C-5M		ドーバー
	6:33		C-17	AK
	9:40		F-22	① ② ③ ④ ⑥ ⑦
			F-22	⑧ ⑨ ⑩ ⑫ ⑬ ⑭
1/26			F-22	のうち 8 機
	10:06		F-22	
			F-22	
			F-22	
			F-22	
			F-22	
	10:29	C-5M		トラビス

月日	時刻	着陸	離陸	備考・所属など
1/25	10:30		F-22	① ② ③ ④ ⑥ ⑦
			F-22	⑧ ⑨ ⑩ ⑫ ⑬ ⑭
			F-22	のうち 4 機
	12:16		C-17	AM
	12:55			C-130 から 2 名降下
	13:06	F-16 ①		アラスカ州イー ルソン基地
		F-16 ②		
		F-16 ③		
		F-16 ④		
		F-16 ⑤		
	13:20	KC-135 ②		マッコネル
	15:08	C-5A		
	17:54		C-5A	
1/26	6:42		C-5M	トラビス
	8:04		KC-10 ②	トラビス
	8:07		C-17	
	15:41		UC-35D	
	15:42	ATRAS		チャーター便
	15:56	KC-10		トラビス
	15:59		F-22 ⑪	
			F-22 ⑫	
	16:08		KC-135 ②	マッコネル
	16:13		F-16 ①	
			F-16 ②	
			F-16 ③	
1/27			F-16 ④	
			F-16 ⑤	
			F-16 ⑥	
	16:20			C-130 から 5～6 名 降下

経過報告と今後の予定 (2016 年 1 月 20 日～)

- * 1/20 F-22A が 8 機横田基地に着陸。
- * 1/20 ～ 1/22 人員降下訓練：2 名
- * 1/21 弁護団＋原告団会議
- * 1/21 F-22A ・ 4 機横田基地に着陸
- * 1/22 NEWS 発送作業
- * 1/22 F-22A ・ 2 機横田基地に着陸（合計 14 機集結）
- * 1/25 F-22A・12 機離陸。F-16C・6 機横田基地に着陸。
- * 1/25 ～ 29 人員降下訓練＝約 250 名
- * 1/26 F-22A ・ 2 機 & F-16C ・ 6 機が離陸・
- * 1/27 東日本連絡会政府交渉
- * 1/29 第 2 次新横田基地公害訴訟原告団の現場検証
- * 1/31 オスプレイ反対署名活動
- * 2/1 生活者ネット都政フォーラムで横田基地の報告
- * 2/1 オスプレイ横田配備反対連絡会
- * 2/4 第 14 回弁論と進行協議
- * 2/4 なくす会＋原告団役員会議
- * 2/9 東日本オスプレイ反対連絡会
- * 2/11 全国基地連・情報交換会
- * 2/12 オスプレイ反対政府交渉（横田 6 団体）
- * 2/12 全国基地連・政府交渉
- * 2/29 横田基地所属の UH-1N 調布飛行場に不時着
- * 3/3 弁護団＋原告団会議
- * 3/3 なくす会＋原告団役員会議
- * 3/7 昭島市へオスプレイ問題申し入れ（横田基地問題を考える会）に参加

- * 3/10 防音工事アンケート送付
- * 3/14 オスプレイ横田配備反対連絡会
- * 3/17 防音工事アンケート訂正お願い送付
- * 3/21 オスプレイ配備反対署名活動
- * 3/24 普天間訴訟結審支援行動～全国基地連事務局
長会議
- * 3/25 辺野古・キャンプシュワブ支援行動
- * 3/31 オスプレイ反対東日本連絡会作業部会
- * 4/7 なくす会＋原告団役員会議
- * 4/11 横田パンフ改訂版・入稿
- * 4/13 弁護団＋原告団会議
- * 4/14 なくす会・原告団 NEWS 発送
○○○○○○○【今後の予定】○○○○○○○
- * 4/22 オスプレイ横田配備反対連絡会
- * 4/23 横田基地案内（狹山市住民の会）
- * 4/28 第 15 回弁論と進行協議
- * 5/9 オスプレイ反対東日本連絡会作業部会
- * 5/14 総会に向けての役員会議
- * 6/1 全国公害被害者総行動・政府交渉
- * 6/2 なくす会＋原告団役員会議
- * 6/5 定期総会 in 昭島市民会館公民館
- * 6/11 午前中学習会～午後横田基地案内（三多摩平
和運動センター）
- * 6/30 第 16 回弁論と進行協議
- * 9/17 全国基地連・総会と交流会 in 昭島

オスプレイ反対署名に引き 続きご協力をお願いします

オスプレイの横田基地への飛来（MV-22）・配備（CV-22）に反対する署名にご協力いただきありがとうございます。このニュースで報告しました通り、本年 2 月 12 日に、他団体集約のものと合わせて 18,000 筆の署名を政府に提出しました。

当面 2017 年末の CV-22 オスプレイ配備までは、同じ文面で署名集めを進めていく予定です。

次の集約日は、本年 9 月 30 日としましたが、地元住民の数を考えると、まだまだ不足です。自分の行動範囲で可能な限り賛同者を集めてください。

訓練空域を含めた横田基地周辺で、「これ以上の危険や被害が増加することに反対だ」との声を更に広げなければなりません。

なお、4 月 30 日（日）午後 2 時～3 時に、JR 昭島駅北口にて、オスプレイ配備・飛来反対の署名活動を行います。多くの方の参加を呼びかけます。



会費の振り込みについて



会費の2016年度分は、本年4月からの1年間の期間が対象となります。なお、原告団会費については、半期分5,000円ずつの分割納入も可能です。分割納入の方は、その旨を振り込み用紙に書いてください。

原告団の年会費は1名1万円(高額になりますので、最終段階まで1世帯1万円でも結構です)、横田・基地被害をなくす会の年会費は個人会員は1名2千円、団体会員は1口2千円です。

「原告団会費」と「横田・基地被害をなくす会会費」とがあります。両団体に加入の方、一方の団体だけに加入の方がおられますので、間違いのないようにご注意ください。

なお、原告団となくす会の会員の方には、振込用紙と会費納入状況についてのお知らせの用紙が入っています。記述に間違いのある場合は、原告団事務所か福本(P.1参照)にお知らせください。

第9次横田基地公害訴訟 原告団・会費の振り込み先

会費納入は、以下の口座へお願いします。

- ①ゆうちょ銀行 店番018 普通 8014443
- ②ゆうちょ銀行 00180-6-790063 (振替用紙を同封しましたので、お使いください。)

※名義：第9次横田基地公害訴訟原告団

※年会費は、10,000円(家族原告は、1名以外の会費を裁判終結時に精算することもできます。)

なくす会・会費の振り込み先

会費納入は、以下の口座へお願いします。

- ①ゆうちょ銀行 店番008 普通6875225

- ②ゆうちょ銀行 記号10040

番号68752251 (振替用紙使用の場合)

- ③中央労働金庫立川支店 店番282

普通預金(口座番号)1074068

※名義：横田・基地被害をなくす会

※年会費は、個人2000円、団体1口2000円

天欄

▶友人に『子どものしあわせ』という雑誌をもらった。巻頭に「リレートーク／私を育ててくれた人たち」というコラムがあり、立川生まれの伊勢崎賢治さんが書いていた。▶タイトルの「良心の声を聞け」という言葉は早稲田大学建築科に進学したときの教授吉阪隆正氏の言葉である。有名な建築家コルビジェの愛弟子で、あこがれの人だった。住宅設計の課題にAマイナスをつけられた若い伊勢崎さんは、先生に文句をいいにいった。静かに淡々と相手をしてくれた先生は、「芸術性としては君の作品が一番好きだ」と言ってくれた。大学院で先生の研究室に入っただけで、先生は亡くなった。進路はその後変わったがこの言葉は残った。▶職能はかならず組織になる。組織の維持が目的化して、良心からの乖離が起こる。そういうとき、自分を引き戻す努力をしないといけない。・・・先生はその通りの言葉で語ったわけではないが、伊勢崎さんはそう理解してこの言葉をずっと背負って生きてきた。▶伊勢崎さんは一九五七年、立川病院で生まれた。シングルマザーだった母は、基地の町立川で働く夜の女性たちを相手に洋服を仕立てる仕事をしていた。小学生低学年の頃、砂川の団地に引っ越した。母子家庭の集まる特別な棟は家賃が特別に安かった。互助的な関

係も自然にできていった。働きづめた母に助けられ立川高校、さらに大学に進学した。▶伊勢崎さんは「紛争屋」を名乗っている。長い間、国際NGO、さらに国連や日本政府の立場で、戦争や内戦の現場に関わってきた。具体的には、対立する武装勢力と交渉し、武器を捨てさせる・・・武装解除を仕事にしてきた。東ティモール、シエラレオネ、アフガニスタンの武装解除などである。この仕事には矛盾がつきもので、対立者を罰すると、銃を下ろしてくれない。戦争犯罪者を許さないという良心がいつも秤にかけられたという。▶現在は大学の研究者、教育者。その立場でそれらの地域に関わっている。「将来の日本を考えたとき、大事なものは異質なものを受け入れていくこと、とりわけイスラムとの共存です。」それを実行する場所は日常生活にあり、子どもたちがともに笑ったり遊んだり、異文化と楽しく交わる仕掛けが必要、と伊勢崎さんは最後に説いている。▶米軍占領下の基地の町立川で育った伊勢崎さんをいつか招いてお話を聞きたいと思う。氏の著書『新国防論・・・九条もアメリカも日本を守れない』(毎日新聞社)もお勧めだ。(K)▶横田基地が変容している。「基地機能強化」であることは疑いがない。一体何が原因なのか。勿論米軍の都合なのだが。(F)